

JACET中国・四国支部 Newsletter

第11号

目次

- | | | |
|---------------------------------------|---------------|--------|
| 1. 巻頭言 | 副支部長 岩井 千秋 | pp.1-2 |
| 2. 2013年度春季支部研究大会報告 | 大会実行委員長 田淵 博文 | pp.2-3 |
| 3. 2013年度支部第1回役員会報告 | 事務局幹事 平本 哲嗣 | p. 3 |
| 4. 2013年度支部研究会 OPP—第5回イベント案内 | OPP 代表 岩井 千秋 | p.4 |
| 5. 2013年度秋季研究大会発表応募要領 | 事務局幹事 平本 哲嗣 | pp.4-5 |
| 6. 『JACET 中国四国支部研究紀要』投稿募集 | | p.5 |
| 7. 事務局だより | 事務局幹事 平本 哲嗣 | pp.5-6 |
| 8. 編集後記 | | pp.6-7 |
| 9. 【重要】 ニューズレター (NL) 配信についてお願い | | p.8 |

巻頭言

日本の夏、JACET の夏！

中国・四国副支部長 岩井 千秋

猛暑の夏は近年の日本の風物詩、支部会員の皆様にはこの夏をいかがお過ごしになったでしょうか。今年も40度越えが話題になりましたが、気温40度と聞くと私はかつてテキサスで学生をしていたころを思い出します。むろん、米国は今でもあの不便な華氏 (Fahrenheit) に拘わる国で、実際に

は110度のような、慣れないうちはギョッとすると大きな数字がテレビ画面や新聞の紙面に表示されるわけです。面倒な公式を使って摂氏に換算するとこれは43.3度ということになります。日本の40度などちょろい、と思いきや、低湿度のため日陰にいればさほどの暑さは感じず、私にとっては好きな

季節でもありました。

さてその夏ですが、日本の夏と言えば、JACET 会員にとっては「JACET の夏(国際大会)」、ということになります。私たち中国・四国支部が前回全国大会を担当したのは2007年度の第46回大会でした。当時の支部長の西田正先生のもと、現支部長の松岡博信先生を旗頭に安田女子大学を舞台に開催され、見事な大会運営は本部の理事会などでも高く評価されたと聞いています。

早いものであれから6年、我が支部に再び全国大会(国際大会)の当番が巡ってきました。私たちの支部が担当するのは来年2014年度の第53回大会で、会場は私の所属する広島市立大学とすることがすでに本部理事会で承認されています。この大会は不肖岩井が会場校の責任者として支部組織委員会の指揮をとらせていただくこととなりました。微力ながら、支部役員の皆様、ならびに支部会員の皆様のご協力を得ながら、大役を全うする所存です。まずもって、皆様にはお力添えのほど心底よりお願いする次第です。

さて、その大会ですが、すでに日時、大会テーマ、招待講演者までは決まっています。ご紹介しますと、開催は2014年8月28日(木)～30日(土)の3日間、大会テーマは「平和と友好をめざす英語コミュニケーション力の育成 (Fostering English Communicative Competence for Peace and Friendship)」です。招待講演者は

Craig Smith (京都外国語大学)、Kip Cates 氏 (鳥取大学)、George Jacob (James Cook University, Australia) の3名が予定されています。

とまあ、ここまではシナリオが出来上がっているのですが、今年度の第52回大会(京都大学)がまだ未終了の現在(8月20日)、本格的な筋書きに着手するのはこの大会が終わってからということになります。とは言え、本部の組織委員会はすでに始動しており、私もいつの間にかメーリングリストに加えられているものですから、連日メールの山が届いています。今からこの調子だと、来年の本番はどうなるのだろうか、と戦々恐々とするこの頃です。支部では9月6日の支部大会実行委員会の開催を皮切りに、本部の大会組織委員会と連携しながら、大会に向けた準備を進めていくこととなります。

さて、来年の夏はどんな「暑い」夏になりますことやら。今年の残暑は大方の期待(望み)を裏切り、本拙稿を執筆の今もお盆の季節はとうに過ぎたというのに、日本各地で連続猛暑日の記録更新中です。今年の京都大会は来週末の30日に始まりますが、それまでには猛暑地獄が終わってほしいものです。同様に、我が支部の担当する来年の国際大会が「熱く」とも「暑く」はない学会となることを今から願わずにはられません。

(広島市立大学)

2013年度春季支部研究大会報告

大会実行委員長 田淵 博文

2013年度春季支部研究大会を6月8日(土)の13時30分から就実大学で開催しました。研究発表者が6人のため、2室に分けておこなわれました。

第1室では、クリスチャン・バロウズ(環太平洋大学)「日本人学習者間のコミュニケーション方略の研究」、岩井千秋(広島市立

大学)「オーラル・プレゼンテーションの指導による意識面と言語面の変化」、松岡博信(安田女子大学)「Eディクテーション演習の学習者ログ分析」の発表がおこなわれました。

第2室では、佐藤あずさ(安田女子大学大学院生)「音読と新規学習項目の内在化に

ついて」、田淵博文(就実大学)「*Newsweek*の特別記念号に掲載されたエリザベス女王を指し示す言語表現について」、西田正(福山大学)「日本人大学生の英語読解技能」の発表がおこなわれました。いずれの研究発表もハンドアウトが周到に準備され、内容も刺激的であったと伺っております。

30分間の休憩の後、15時40分から17時40分まで、2時間に亘り、三宅忠明先生(岡山県立大学名誉教授)の講演を拝聴しました。「唱歌・童謡の力—これが復活すれば日本は必ず蘇る—」という題の講演で、三宅先生の熱意にあふれた刺激的なものでした。講師である三宅先生は、2012年に『唱歌・童謡の力—これが復活すれば日本は必ず蘇る—』という題の著書を出版されていて、無料で参加者全員に配布し、それを用いて私たちの前で、自分の肉声で唱歌や童謡を英語で楽しく歌っていただきました。参加されていた多くの先生方が、三宅先生の記憶力のよさと美声に非常に感銘を受け

たという感想を述べておられたのが、印象的でした。

その後、18時から20時まで三宅先生を囲み日本料理店「花由」で、懇親会を開きました。三宅先生の朋友で、中国・四国支部長を務められた経験のある中村浩路先生や元就実大学教授の西山武久先生も参加され、和やかにつろいだ会になりました。ここでも三宅先生が主役で、私たちは聞き手に回りました。

最後に前中国・四国支部長の西田正先生(福山大学教授)による、心温まる閉めのことばでお開きとなりました。

春季支部研究大会への参加者は35名でしたが、研究発表や講演から刺激や感銘を受けた人も多かったのではないのでしょうか。

秋季研究大会は10月26日(土)に香川大学で開催されますが、春季研究大会同様、実り多い会になることを祈念しております。
(就実大学)

2013年度 JACET 中国・四国支部

第1回役員会報告

2013年6月8日(土)に開催された支部役員会にて、2014年度の事業計画、第53回年次国際大会、支部HPにおけるフォーラム導入について、そして今年度の活動について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

- 1) 来年度の事業計画について
・春季研究大会
日時：2014年6月7日(土)
場所：広島市立大学
大会テーマ：未定

・秋季研究大会
国際大会が広島で開催されるため、秋季研究大会は非開催とする。

- 2) 第53回年次国際大会について
日程：2014年8月28日(木)～30日(土)
(予定)

場所：広島市立大学

- 3) Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会
日程：2013年12月15日(日)
場所：広島国際大学呉キャンパス

2014 年度支部研究会 OPP のご案内

支部研究活動 Oral Presentation and Performance (OPP)の第5回大会を以下のとおりご案内いたします。メールですでに参加申し込みのご案内を差し上げましたが、9月末までは申し込みを受け付けますので、ご関心のある会員の皆様にはどうぞご検討ください。

募集期間 9月下旬頃まで。
開催日時 2013年12月15日(日)
10時～15時頃まで(変更の場合あり)
開催場所 広島国際大学呉キャンパス

募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン(平均10～15分程度、上限30分まで、先生方のプレゼンも歓迎。)

3. 募集は先着順。8校程度まで受付。
4. 申込みは代表者にメール。
(iwai@intl.hiroshima-cu.ac.jp)

OPP 研究会は 2009 年に発足し、昨年度は 8 大学 9 団体のエントリーがありました。活動目的は、スピーチコンテストなどのように学習者の英語能力を競うことではなく、学習者が協同学習に取り組み、その成果を他大学の学生・教員などのオーディエンスの前で発表することにあります。また教員側にとっては、各種の取り組みに触れることで、指導法やその技能を高めることを目的としています。OPP のより詳しい活動内容は以下のサイトからご覧いただけます。
<http://chiaki.intl.hiroshima-cu.ac.jp/Bulletin/07OPP/>

※パスワードをご希望の方は代表者までお問い合わせください。
(OPP 代表 岩井千秋、広島市立大学)

2013 年度秋季研究大会発表応募要領

事務局幹事 平本 哲嗣

6月8日(土)に開催された支部役員会にて、2013年度秋季研究大会について話し合いが行われましたので、お知らせいたします。

支部研究大会

日時：2013年10月26日(土)

場所：香川大学

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語
- b. 種別 (Style) : 自由研究発表、実践報告、事例研究など
- c. 氏名 (Name) :

d. 研究領域 (Research Area) :

e. 概要 (Abstract) : 目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。

f. 所属 (Affiliation) :

g. 使用機器 (Equipment needed) :

h. 連絡先 (Contact Address) : メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2013年9月15日(日)～10月15日(火)
午後11時59分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください（発表、および懇親会への参加申込ができます）。

<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp/>

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員 ML、および支部 HP でお知

らせします。（支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください）。

■問い合わせ先

事務局幹事 平本哲嗣

hiramoto@yasuda-u.ac.jp

～『JACET中国四国支部研究紀要』投稿募集～

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定

いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

■修正原稿締め切り：1月末

■刊行：3月末

送付先：紀要編集委員会委員長

松岡博信（安田女子大学）

E-mail: matsuoka@yasuda-u.ac.jp

～事務局だより～

今年は例年にも増して暑さの厳しい夏となりました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

来年度、広島市立大学で第53回国際大会が開催される予定となっており、今年、来年と中国・四国支部はその準備に追われそうです。平和都市ヒロシマを舞台に実りある大会にすべく支部役員一同毎日知恵をこらしながら準備を進めているところです。

中国・四国支部では研究大会のご案内を、支部 HP、ニューズレター、葉書、メール等を通じてお知らせしております。年度が替わり異動された会員の方もおられるようで、時には宛先不明のままこちらに返信されるケースもございます。所属、メールアドレス、住所、身分・資格などを変更された場合には、事務局本部 jacet@zb3.so-net.ne.jp までご連絡ください。

★新入会員紹介★ 2013 年度の新入会員を
ご紹介いたします。(敬称略)

高島 裕臣
宇塚 万里子
佐川 昭子
久保田 眞吾
三浦 邦彦
藤村 美希
金井 典子

★2013 年度支部人事★

2013 年度の支部人事および本部運営委員
をお知らせ致します。支部活動発展のため
に力を尽くしますので、どうぞよろしくお
願いいたします。

【支部役員】

支部長 松岡博信 (安田女子大学)
副支部長 岩井千秋 (広島市立大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)
*平本哲嗣 (安田女子大学)
高橋俊章 (山口大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)

支部会計担当者
山川健一 (安田女子大学)

支部研究企画委員
筏津成一 (鳥取大学)
池野 修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (香川大学)
上西幸治 (広島大学)
角山照彦 (広島国際大学)
小山尚史 (岡山大学)

【編集後記】

日本中が秋雨前線 (autumnal rain
front) の影響を受け、一瞬のうちに暑さに
変わり、朝晩は秋の気配を感じさせるよう
な今日この頃です。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

高垣俊之 (尾道市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田中博晃 (広島国際大学)
田辺尚子 (安田女子大学)
田淵博文 (就実大学)
寺嶋健史 (松山大学)
鳥越秀知 (香川高等専門学校)
西田 正 (福山大学)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 松岡博信 (安田女子大学)
総務委員会 (支部事務局幹事)
平本哲嗣 (安田女子大学)
財務委員会 (支部会計担当者)
山川健一 (安田女子大学)
国際大会組織委員会本部
田中博晃 (広島国際大学)
『JACET 通信』委員会
鳥越秀知 (香川高専)
学術出版委員会紀要担当
堀部秀雄 (広島工業大学)
学術出版委員会
堀部秀雄 (広島工業大学)
セミナー事業委員会 サマーセミナー担当
田淵博文 (就実大学)
研究促進委員会
岩井千秋 (広島市立大学)
紀要編集委員 松岡博信 (安田女子大学)

一昔前にオノマトペ (擬音語、擬態語) に
ついて研究したことがありました。オノマ
トペは普通の言葉では表現しにくい微妙な
ニュアンスや、生き生きとした実感を伝え
る強い力があります。もちろん、英語にも
オノマトペはありますが、今日は、そのオ

ノマトペと秋に因んだ日本語の俳句をご紹介します。

- 街道を キチキチととぶ ばったかな
(村上鬼城)
静かな秋の日差しを浴びた、人通りのない街道を、一匹のバツが急に飛び上がった。キチキチと鳴いて、飛んでは落ち、飛んでは落ちていく。

- きりきりしやんとして咲く桔梗かな
(小林一茶)
桔梗の花の形は「きりっとしやん」として引き締まり、花の色もきりっと引き締まった濃い紫をしている凛とした花だ。



一方、漱石は、桔梗を

- むつとして口を開かぬ桔梗かな
(夏目漱石)
まだ花を開かない、少しふくれ面のようなかたちをしながら、まだ咲こうとしない。「むっ」としていても、桔梗はどこか孤高な花だ。



最後におなじみの

- 朝顔に つるべとられて もらい水
(加賀千代)

朝、井戸に水を汲みに来てみると、朝顔の蔓がつるべに巻きついていて水がくめない。切ってしまうのもかわいそうなので、近所に水をもらいに行くことにした。



過ぎ去ってしまう心地よい秋の気配を、あなたも句にしてみませんか？

さて、来年度は7年ぶりに広島で全国大会（国際大会）が開催されます。これからその準備にかかりますが、何よりも地元の会員の皆様の参加が最も会を盛り上げることができると思います。どうぞ、2014年8月28日～30日を、今からカレンダーの予定表にお加えください。

(MM)

【重要】

JACET（大学英語教育学会）中国・四国支部ニューズレターの配信について

中国・四国支部 支部長
松岡 博信（安田女子大学）

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信することといたしました。支部会員の皆様におかれましては、以下の手順に従ってアドレスの登録作業を行っていただきますようお願いいたします。またこれに合わせて、支部メーリングリストへの参加確認も行います。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

1. 支部 HP (<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。
2. 「メールアドレスの登録について」のここからをクリックして入力する。
3. ウェブの入力フォームに下記の情報を入力する。

- ・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？
すでに登録している 希望する 希望しない
(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)
- ・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がございましたら、事務局幹事の平本 (hiramoto@yasuda-u.ac.jp) までお問い合わせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第11号 2013年9月5日 発行 発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 松岡 博信) 編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴 発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学 保健医療学部医療技術学科 三宅 美鈴 連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp
